

第 1 章－3　ローマ世界

1. ローマ共和政

(1). 身分闘争とイタリア統一

BC.1000 頃　ティベル河畔に_____人が都市建設、初め先住民_____人の王に支配

BC.6c 末　王を追放。貴族（パトリキ）による共和政 ⇄ 平民（プレブス）
……2名の執政官（_____）、貴族の会議（_____）
非常時はコンスル1名が任期半年の独裁官（_____）に

※ 貨幣経済の発展→武器が安価に→平民の重装歩兵が軍の主力に→平民が貴族に参政権要求
（このパターンはギリシアと同じ。ローマは広大な領域を支配するに至ったため、その後の展開は異なる。）

BC.494　平民の_____（聖山事件）
→_____（拒否権を持つ平民代表、身体不可侵）、_____（平民の議決機関）設置

BC.451　_____制定……ローマ初の成文法。法知識の貴族独占が破られ平民の地位向上。

BC.367　_____制定
_____2名のコンスルのうち1人を平民から選出。大土地所有の制限。

BC.287　_____制定
平民会の決議が元老院の承認なしに国法となる→身分闘争の終結

BC.272　_____陥落　→イタリア半島統一
└ 半島南部のマグナ=グレキア（ギリシア人諸都市）の最後の拠点

※ 分割統治 { 植民市　……ローマからの移住者による＝ローマと対等
_____……参政権以外のローマ市民権を持つ
_____……軍役義務を負うが市民権はなし

(2). 海外発展

◆ _____(264～146.BC)
_____を中心とする西地中海のフェニキア人勢力との戦い

第1次 (264-241)　…… _____獲得（最初の _____＝イタリア半島外の領土）
第2次 (218-201)
BC.216　 _____の戦い……カルタゴの将軍 _____、ローマに迫る
BC.202　 _____の戦い……ローマの将軍 _____、ハンニバルを破る
第3次 (149-146)
BC.146　カルタゴを破り属州（アフリカ州）とする
BC.133　イベリア半島を属州（イスパニア州）とする

◆ マケドニア戦争（264～146.BC）
東地中海のギリシア人勢力と戦い、BC.146　ギリシア・マケドニアを属州とする

(3). ローマ社会の変質……平民の間に貧富の格差が生じ二極分解

騎士（エクイテス）……属州の徴税請負で成り上がる
属州統治の任務を負った元老院議員らと結びつき、新貴族（ノビレス）身分を形成

属州の拡大 { 戦争奴隷の流入　→　有力者の奴隷制大農場経営（_____）
_____安価な穀物の流入
↓
中小農民の没落……有力者の私的な庇護下に入り「パンと見せ物」を要求
没落しても市民権を持っている彼らを配下におくことは有力者にとって政治力となる。
彼らが有力者の傭兵となる（＝国民皆兵の重装歩兵制度の解体）

(4). 内乱の一世紀

BC.133～121　 _____の改革
_____リキニウス法の大土地所有制限復活を図るが暗殺される。
↓
_____派（ _____など）　V S　 _____派（ _____など）
_____それぞれ傭兵を率いて抗争
_____しかし国難も彼らの活躍で乗り切る→権力の個人集中を容認する風潮
BC.111～106　ユグルタ戦争
_____北アフリカ・ヌミディア王ユグルタの反乱→マリウスが鎮圧
BC.91～88　 _____（ソキイ）戦争
_____スラがイタリア半島内の同盟市にローマ市民権付与して鎮定
BC.88～63　ミトリダテス戦争
_____小アジア・ポントゥス王ミトリダテスの反乱→ポンペイウスが鎮圧
BC.88～82　マリウスとスラの抗争
_____→BC.82～79　スラの独裁
BC.73～71　 _____
_____剣奴の反乱→ポンペイウス、クラッススにより鎮圧
BC.64　 _____セレウコス朝シリアを滅ぼす（ポンペイウスによる）

(5). 三頭政治……有力政治家が元老院を無視して寡頭支配

①. 第1回 _____(BC.60～53)
{ _____……Julius Caesar、平民派
_____……閥族派
_____……BC.53　パルティアに遠征し戦死

BC.58-51　カエサル、 _____に遠征し功績大（「 _____」）
↓↑
BC.53　ポンペイウス、元老院と妥協し三頭政治解消
BC.48　カエサル、ポンペイウスをエジプトに討つ
_____この時、プトレマイオス朝の女王 _____の即位を援助
_____→翌年ローマに帰り太陽暦をもたらす（ユリウス暦）

BC.46　カエサル独裁……終身ディクタトル就任
_____元老院からインペラートル（軍最高司令官）の称号を授与される

BC.44　カエサル暗殺……元老院共和派の _____らによる

②. 第2回三頭政治（BC.43）

{ _____……カエサルの養子
_____……カエサルの部下
_____……BC.36　失脚
BC.37　アントニウス、エジプトに赴きクレオパトラと結婚
↓
BC.31　 _____
_____オクタヴィアヌス、アントニウス・クレオパトラ連合軍を討つ
↓
BC.30　クレオパトラ自殺、プトレマイオス朝滅亡
↓
_____ローマの地中海完全制覇、オクタヴィアヌスの独裁権確立

(1). 前期帝政=元首政

4. キリスト教

(1). 成立

_____ (BC.4-AD.30、Jesus はギリシア語名、本来のヘブライ語名はヨシュアだったはず)

◎ユダヤ教の「選民思想」と「律法主義・形式主義」を批判
(_____人……律法を極端に重視する一派)

※本当のイエスは、ユダヤ教の律法が差別の根源であることを見抜き、宗教が支配する非人間的な生活全般に対抗して、そうではなくもっと普通に人間的な生活をしよう、と提唱した人物であった。
(だから自らの名による新しい宗教を作ろうなどと考えたことはなかった。)
そのような伝統的権威に対して疑問をなげかけるような生き方は、必然的に権威・権力の側からは危険視される。それは、ユダヤ教幹部のみならず、ローマ総督ピラトにとっても同様であった。
新約聖書の記述ではピラトは、イエスの処刑に消極的だったように書かれているが、それは、キリスト教が“ローマ帝国にとっての犯罪者を戴く宗教”と解釈されないための事実歪曲である。
実は十字架刑そのものがローマ帝国の処刑方法であった。もしユダヤの慣例によるならば「石打ち」の刑にされたはずである。

AD.30 頃 ユダヤ教指導部によって告発され十字架刑

↓↑
_____ = _____ = _____ とみなし、その復活を信ずる
(膏を注がれた者＝神に祝福された者、の意味)
_____ (ヘブライ語) _____ (ギリシア語)

(2). 迫害と発展

_____ (12 使徒の筆頭)、_____ (パリサイ派から回心) らの布教
→ローマ帝国各地に _____ (Church = 信者の団体) が成立

※原罪と贖罪……パウロが確立した教え
罪なくして生まれた神のひとり子＝イエスが、全人類の「原罪＝生まれながらの罪」をあがなって下さったのだ、と信ずる者だけが救われる。

◇帝国による迫害

ローマ帝国の信仰＝ギリシア以来の多神教 (主神はギリシアの Zeus ＝ローマの Jupiter) と相容れず

- ・第 5 代 _____ 帝による最初の迫害
ローマ大火 (AD.64) をキリスト教徒の仕業とする→この時ペテロ、パウロの殉教
- ・ _____ 帝による最後の大規模な迫害
キリスト教徒は皇帝崇拝を認めず (皇帝を Domine と呼ぶことを拒否)

↓↑
信者は地下墓地 (= _____、Catacombae、英 catacomb) で集会・団結

※ただし帝国の歴史を通じて継続して弾圧を受けていたわけではない。

◎「 _____、New Testament」の成立
正典 27 文書すべて、当時の帝国東部＝ヘレニズム世界の共通語である
普通のギリシア語＝ _____ (=ギリシア語で「普通の」という意味) で書かれる

_____ (パウロの諸手紙 (50-60)、マルコ福音書 (60's)、マタイ・ルカ (70-80)、ヨハネ (90 頃))

※ユダヤ教の聖書も「旧約聖書」として使用
イエスの出現と処死は、ユダヤ教の預言が成就したものと解釈されたため

(3). 公認から国教化へ

◎ _____ 帝
313 _____ ……キリスト教を公認
(西方副帝の時に公布→ 324 帝国再統一後、帝国全土に適用)

キリスト教を帝国の統一維持に利用しようとする

↓↑
当時のキリスト教は、その教義に神学的対立あり

325 _____ ……帝国が主催する宗教会議
_____ 派を“正統”の教義とする
「 _____ 説」 ……父なる神、その子イエス、聖霊の三者は一体
_____ 派 (イエスは人間であり、神と同一ではない) は“異端”とされる。
→北のゲルマン人に広まる

※この段階でキリスト教は“政治の道具”となる
「正統」か「異端」かは、政権に有利か有害か、で決定される

▼ユリアヌス帝……ギリシア以来の古典文化と、ミトラ教の復興を企てる
＝キリスト教の立場からは“背教者”

◎ _____ 帝
392 異教禁止令＝キリスト教以外の宗教禁止
正統派キリスト教を帝国の“ _____ ”とする

| | キリスト教 | 他の宗教 |
|-----------|-------|------|
| ～ 313 | × | ○ |
| 313 ～ 392 | ○ | ○ |
| 392 ～以降 | ◎ | × |

(4). その後の発展

431 _____
_____ 派を異端とする →ペルシア→中国 (景教)
キリストの位格は神格と人格との 2 つに分離される (三位一体の否定)。
人性においてイエスを生んだマリアが“神の母”であることを否定。

451 カルケドン公会議……単性論 (キリストに神性しか認めない) を異端とする
「イエスは神の子にして、人となって受難した」というのが公式見解

◆ _____ = 教義の確立に貢献した神学者
_____ (354-430) ……著書「 _____」「告白録」
新プラトン主義とキリスト教思想を統合

◆ 5 本山…… _____, _____, _____, _____, _____
(西ローマ首都) (東ローマ首都) (セレウコス朝旧都) (ブトレマイオス朝旧都) (発祥地)
↳ 対立 ↳ →残り 3 都市はイスラム支配下に